

1 過去の入札対応

建築工事	1回目	2回目	3回目
JV構成員数	4者	2者	2者又は3者
工期	810日	770日	全体工期900日(実工期810日)
予定価格(税抜き)	5,622,828千円	5,441,649千円	8,041,674千円
消費税	5%	8%	8%
入札日	H25.8.2(中止)	H25.11.12(中止)	H26.5.14
支援機関	なし	なし	(公財)三重県建設技術センターによる積算支援
関連3工事	中止	中止	中止

➤ 応札はあったものの予定価格より14億円を超過し不調

2 津市における乖離原因(14億円)の分析

■ 入札時の見積内訳書等から分析

事業者がリスクとして見込んだもの

- 長期の工事期間における建設資材価格や労務費の変動に係る費用に対する懸念。
- 労働力や資材の確保に係る追加経費。
- 施工方法及び数量算出方法等の細部まで表記されていないことから考え方の相違。

事業者が価格上昇として見込んだもの

- 建設資材価格及び労務費の高騰が継続。
- 予定価格算出時と事業者の見積り時期とのタイムラグ。

3 国土交通省の助言

助言① 公告時の設計図書に施工方法等の条件事項をより明確に表記する。

助言② 公告時に最新で適正な単価を設定する。

助言③ 公告時期の設定に当たっては労務単価の改正時期を注視する。

助言④ 契約後に追加経費が必要となる場合や仕様と現地作業が異なる場合は、設計変更で対応することを明確にする。

助言⑤ 契約後にスライド条項を適切に適用することを明確にする。

4 国土交通省の助言を踏まえた対応



5 現在までの取組みと今後の進め方

◆ 現在(平成26年8月7日時点)までの主な取組み

- H26.5.14 ➤ 3回目入札不調
- 26 ➤ 応札者との随意契約不成立
- 27 ➤ 国土交通省への支援要請を決定
- 28 ➤ 国土交通省中部地方整備局へ支援要請のため往訪(公財)三重県建設技術センターへ積算支援要請のため往訪
- 29 ➤ 設計者に不調の原因調査と分析を要請
- 6.3 ➤ 国土交通省本省へ支援要請のため往訪
- 12 ➤ 国土交通省中部地方整備局へ協議のため往訪
- 19 ➤ 設計者からの不調の原因調査と分析の結果報告
- 20 ➤ 国土交通省中部地方整備局が協議のため来訪し、本市の設計及び積算手法の確認
- 7.7 ➤ 設計者に再積算を依頼

◆ 今後(平成26年8月8日以降)の進め方

➤ 設計者による再積算が8月18日頃に届く予定であり、その後国土交通省と(公財)三重県建設技術センターによる積算確認に1週間程度要します。確認された積算額に、次回公告までに起こり得る労務単価及び建設資材等の物価変動を織り込んだ工事費を算出できるのが同月25日頃となることから、開会中の9月議会に追加議案(既決予算の増額補正及び継続費の変更)として提案する予定です。

➤ 議決の後、労務単価の改正が見込まれていることから、その時期を見極めた上で直近の市場価格を反映した工事費を算出し、国土交通省と(公財)三重県建設技術センターによる確認を得ます。その算出を基に、適正な予定価格を設定するとともに、国土交通省の助言を踏まえ条件事項等に係る公告を行う予定です。

(想定されるスケジュール)

・入札公告	10月下旬	・仮契約締結	1月中旬
・入札参加申込期限	11月中旬	・平成27年2月臨時議会工事請負議案提出	2月中旬
・開札	12月下旬	・議決後、工事請負契約締結	2月下旬